

2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

出会いサポート事業 169万円

(担当：定住戦略室定住戦略係)

未婚化・晩婚化への対応として、市主催による婚活パーティーの実施や、登米市・一関市・平泉町との連携事業の一環として、合同婚活パーティーを実施し、独身男女の結婚のきっかけとなる出会いの場を提供しました。

- ◆市主催婚活イベント（2回）
参加者数 男性23人、女性22人
- ◆4市町合同婚活イベント（1回）
参加者数 男性30人、女性28人

母子保健健康診査事業 4,917万円

(担当：健康推進課保健指導係)

健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産できるように妊婦一般健康診査14回分、多胎妊娠では20回分の助成を行いました。

また、乳幼児健診は2か月児から3歳児までのお子さんの病気の有無や、成長発達の確認・育児の相談を医師、歯科医師、保健師等の専門職が行いました。

任意予防接種事業 5,136万円

(担当：健康推進課健康推進係)

予防接種を受けやすい環境をつくり、疾病の重症化や蔓延を防ぐため、乳幼児を対象としたロタウイルス、おたふくかぜ、B型肝炎、中学生までを対象としたインフルエンザの4種の任意予防接種費用の全額を助成しました。

助成件数	
インフルエンザ	4,741件
ロタウイルス	234件
おたふくかぜ	345件
B型肝炎	119件

小学校入学支援事業 182万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

少子化対策の推進と子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、市内に住所のある第3子以降の子どもが小学校へ入学する際に購入した学用品費等の費用の一部を助成しました。(子ども1人の上限額は3万円)

助成件数 61件

すこやか子育て支援金支給事業

1,907万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

少子化対策及び子育て世代の定住促進を目的に、出生祝金及び入学祝金を支給しました。

支給件数		
●出生祝金	第1子	123件
	第2子	113件
	第3子	65件
	第4子	8件
	第5子以降	4件
●入学祝金	第3子以降	95件

子育て応援医療費助成事業

2億5,929万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

乳幼児から18歳までの適正な医療機会の確保と子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入院及び通院に係る医療費のうち、保険診療分の自己負担額を全額助成しました。

助成件数	
乳幼児分	延べ 54,306件
小中学生分	延べ 61,445件
高校生等分	延べ 17,126件

2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します

 = 新規事業、 = 拡充事業 （事業名の頭に標記）

一時保育事業 2, 7 1 2万円 (担当：子育て支援課保育サービス係)

保護者のパート就労や病気などの理由で一時的に保育ができない場合に、市内10か所の保育所で、一時的（緊急的）にお子さんを預かる事業を実施しました。

年間利用件数 延べ1, 061件

延長保育事業 394万円 (担当：子育て支援課保育サービス係)

保護者の勤務形態の多様化に対応するため、午前7時から午前7時30分まで、午後6時30分から午後7時まで、延長保育を実施しました。

年間利用件数 延べ218件

放課後健全育成事業（放課後児童クラブ） 1億5, 123万円 (担当：社会教育課生涯学習係)

保護者の就労等により、放課後に家庭において保育ができない小学校に就学している児童を対象に、安心して過ごせる遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図るため、市内全地区で放課後児童クラブを実施しました。

なお、これまでの月曜日から金曜日の実施に加え、土曜日も実施しました。

【実施期間】

4月1日～3月31日

※日曜日、年末年始等を除く

【実施時間】

平日（登校日）：13：30～18：30

長期休業日等： 7：30～18：30



放課後児童クラブの子どもたちの様子

幼稚園預かり保育事業 1億273万円 (担当：学校教育課学務係)

保護者の就労等により、幼稚園の教育時間外に家庭において保育ができない園児を対象に全ての幼稚園で預かり保育を行いました。また、土曜日保育や延長保育も行いました。



幼稚園の預かり保育の様子

赤ちゃん用品支給事業 (スマイル子育てサポート券) 543万円 (担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

少子化対策の推進と子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、平成29年4月1日以降に出生した1歳未満児の保護者に対し、1か月あたり3千円の育児用品の購入助成券を交付しました。

交付件数 310件

2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します

 = 新規事業、 = 拡充事業 （事業名の頭に標記）

子ども・子育て支援事業

1億3,443万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

保育を必要とする児童の受け入れ施設確保のため、市内の乳幼児が通所する市外の公立保育所や認可私立保育所、市が認可した低年齢児の保育を実施する地域型保育事業所に対し、委託料や運営費等を交付しました。

交付件数

市内地域型保育事業所	3施設
市外認可保育所	8施設
市外認定こども園	1施設



地域型保育事業所での保育の様子

(2) 次代を担うたくましい子どもを育成します

学力向上のための緊急プロジェクト事業 (学力向上対策プロジェクト事業)

230万円

(担当：学校教育課指導係)

教員の指導力向上を図るため、授業づくりの先進地である秋田県大仙市へ教員を派遣して研修を行い、小・中学校に成果を普及しました。

また、小・中学校7校を指定校とし、有識者を招いて、学力向上に向けた授業改善や公開研究等を行いました。



小学校の研究授業の様子

学力向上のための緊急プロジェクト事業 (合同学習活動事業)

200万円

(担当：学校教育課指導係)

「学府くりはら」の実現に向けて、中高生を対象とした合同学習活動を行う団体に対して補助金を交付し、市内の生徒の学力向上を図るとともに、自主的に学習する力を育みました。



中高合同学習活動の様子

2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

(2) 次代を担うたくましい子どもを育成します

 = 新規事業、 = 拡充事業 （事業名の頭に標記）

教育研究センター運営事業

1, 430万円

(担当：学校教育課指導係)

教育研究センターに算数・数学担当の特任教授を1人増員し、小・中学校の教員を対象とした授業づくりの研修会の開催、学力向上研究指定校への派遣を行うなど、指導力向上を図りました。



教育研究センターでの研修会の様子

学校ICT環境推進事業

1億5,680万円

(担当：学校教育課学務係)

全ての小・中学校でタブレット端末を活用した授業を行い、授業の内容を一人一人がより理解できる「分かる授業」を実現するとともに、子どもたちの「確かな学力」の育成を図りました。



中学校でのタブレットを使った授業の様子

私立幼稚園就園奨励事業

2,558万円

(担当：学校教育課学務係)

市内の私立幼稚園の教育環境の維持・向上のために運営費等の補助金を交付しました。

また、私立幼稚園に通う園児の保護者の負担軽減を図るために授業料等に対する補助金を交付しました。



私立幼稚園の活動の様子

2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

(2) 次代を担うたくましい子どもを育成します



＝新規事業、



＝拡充事業

(事業名の頭に標記)

幼稚園給食費補助制度

1, 703万円

(担当：学校教育課学務係)

保護者の経済的負担を軽減するため、幼稚園に同時入園している兄弟姉妹のうち2人目以降の園児や、所得が一定基準以下の世帯の園児の給食費を補助しました。

交付人数：414人

幼稚園の給食の様子



青空大使派遣事業

617万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

市内の中学2年生20人をオーストラリアへ派遣し、現地生徒との交流やファームステイ等を通じ、日本とは異なる文化に触れ、海外の生活や文化、風土などの違いを感じ、国際感覚豊かな人材を育成しました。

現地生徒との交流の様子



(3) 人とつながり、支え合い、

互いに高め合う子どもを育てる環境を目指します

豊かな心を育む教育環境創造事業

724万円

(担当：学校教育課指導係)

いじめや不登校をはじめとする児童生徒の様々な問題行動に対応するため、教育相談員による相談窓口の開設、スクールソーシャルワーカーや学びのサポーター、スクールカウンセラーの配置等を行い、児童生徒への指導と相談体制の充実を図りました。

学府くりはら教員等配置事業（補助教員の配置事業）

7, 527万円

(担当：学校教育課学務係)

個々のケースに応じたよりきめ細やかな学習指導を行うため、必要に応じて各学校に補助教員を配置しました。

また、介助を必要とする児童生徒を通常学級で学ぶ支援のための補助員の配置を行いました。

3 「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります



＝新規事業、



＝拡充事業

(事業名の頭に標記)

障がい者地域生活支援事業

9, 636万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

(1) 訪問入浴サービス事業

自宅の浴槽で入浴することが困難な身体障がい者に、訪問入浴サービスを行いました。

(2) 日中一時支援事業

障がい者に日中活動の場を提供し、家族の就労支援や介護の負担を軽減するための支援を行いました。

(3) 日常生活用具給付事業

障がい者等に対し、日常生活の便宜を図るため特殊寝台や紙おむつなど日常生活用具の給付を行いました。

(4) 相談支援事業

障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供を行いました。

(5) 自動車運転免許取得費・改造費助成事業

障がい者の自動車運転免許の取得費用、自動車を改造する費用を助成しました。



就労支援セミナーの様子

(6) 移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者（児）に対し外出する際の支援を行いました。

(7) コミュニケーション支援事業

言語による意思の疎通を図ることに支障のある障がい者へ手話通訳者を派遣しました。

(8) 社会復帰施設運営事業

障がい者等に対し、創作的活動または生産活動の機会の提供等を行いました。

いのちを守る総合対策事業

1億183万円

(担当：社会福祉課社会福祉係、健康推進課保健指導係)

自殺防止について広く啓発するため、講演会等を実施しました。また、悩みを抱えている方を地域ぐるみで見守り、必要な支援につなげることができるゲートキーパーの養成に努めました。多重債務専用の電話相談や弁護士相談、栗原市のぞみローンによる資金融資などの自殺防止対策にも取り組みました。

3 「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち」 (1) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

医療用ウィッグ・補正具購入費用助成事業

77万円

(担当：健康推進課健康推進係)

がん患者が、生き生きと社会で活躍できるよう、生活の質の向上と経済的負担軽減のため、医療用ウィッグ・乳房補正具購入費用の一部を助成しました。

助成件数
ウィッグ 24件
乳房補正具 4件
※ウィッグ…医療用補正具(かつら)

健康診査事業

1億5,742万円

(担当：健康推進課健康推進係)

市民の健康保持や病気の早期発見のため、各種健康診査・がん検診等により健康管理に対する支援を行いました。



健康診査の様子

築館多目的競技場整備事業

3億8,839万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

東京オリンピックに出場する選手団の事前キャンプの誘致や、全国クラスの大会、大学等の合宿を積極的に誘致し、交流人口の増加を図るため、築館多目的競技場に管理棟や観覧席等の施設整備を行いました。



新設した管理棟



整備した照明と観覧席

3 「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

 = 新規事業、 = 拡充事業 （事業名の頭に表記）

社会体育施設等改修事業 (栗駒テニスコート整備事業)

6,392万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

施設利用者の利便性の向上を図るため、ハードコートを砂入り人工芝コートに改修し、新たに倉庫と照明設備を整備しました。



改修した栗駒テニスコート

ホッケー競技国際交流事業 **213万円**

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

ホッケー競技の競技力向上と、国際大会等で活躍できる選手の育成を目的に、オーストラリアの中学生・高校生世代と交流試合やレセプションを通じた国際交流を行いました。



オーストラリアチームと交流

(2) 高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまちを目指します

高齢者生きがい健康づくり等事業

7,047万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

高齢者が生きがいを持ち、いつまでも健康で、生活することができるよう各種福祉サービスを提供し高齢者の支援を行いました。

生きがい活動支援通所事業、外出支援サービス（タクシー利用助成）、食の自立支援（宅配給食サービス）、緊急通報体制等整備事業など10事業を実施しました。



生きがい活動支援通所事業の様子

(3) 市民が安心して暮らせるための地域医療を守ります

休日急患業務事業

798万円

(担当：健康推進課健康推進係)

栗原市医師会に休日等における急病患者への診療業務を委託し、診療体制を確保することで、市民の医療不安を解消しました。